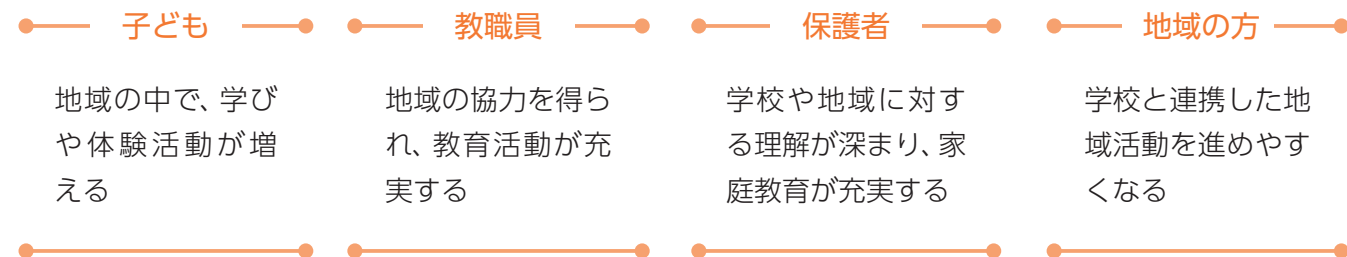


## 【コミスク導入によるメリット】



### 先行導入した双海地域に聞きました

#### ■地域学校協働活動推進員を配置

双海地域では、コミスク導入と併せて、4人の地域学校協働活動推進員を配置しています。同推進員は、コミスクと地域をつなぐ役割を担います。今後、市内全ての小・中学校に配置していきます。

▶(写真左から) 翠小学校区谷本圭司さん、下灘小学校区武田久江さん、由並小学校区渡部正輝さん、双海中学校区本多正彦さん



下灘小学校区地域学校協働活動推進員  
武田久江さん(双海町串)

子どもたちのための活動を

長年子どもたちの見守り活動をしてきたこともあり、校長先生からお声かけいただき、推進員をお受けしました。できることからと思い、まずは小学校の困り事や学校が地域と一緒に取り組みたいことを聞いていきたいです。地域には各分野で秀でた方がたくさんいらっしゃるの、協力して子どもたちのために活動したいです。



下灘小学校校長  
伊賀上純さん

地域に貢献できる学校へ

コミスクが導入されることにより、子どもたちは教室の中だけでは知ることができない地域の良さ・温かさなどを学ぶことができます。また地域の皆さんが学校運営に携わってくださることで、地域の学校を守り、下灘を盛り上げることに繋がると思います。学校を核とした地域づくりに貢献していきたいです。

## 地域とともに作る新たな学校運営

# コミュニティ・スクール

## 始まります

略して  
コミスク

### ○コミュニティ・スクールとは

学校運営協議会を設置している学校のことです。

### ○学校運営協議会とは

保護者、地域の方、校長や教職員などが委員となり、地域と学校が連携し、対等な立場で学校運営について話し合う場です。



▲課題解決に向けた議論を行う

未来につながる学校運営を  
本年4月から双海地域の小・中学校今年度中に市内全ての小・中学校にコミュニティ・スクールを導入します。本市の学校は、規模や立地環境、地域を取り巻く状況もさまざまです。まずは、各校の学校運営協議会で、学校が目指したい方向や将来像について、しっかりと議論を重ねます。

次に、議論の中で出てきた課題について、学校、地域の方、保護者など、それぞれの経験や情報を持ち寄り、課題解決のために行動します。

制度の導入目的は、新しい事業を始めることではありません。これまでに学校と地域で培った人のつながりやノウハウを生かしつつ、それぞれの地域に合った子どもたちの豊かな学びの環境を作っていくことです。伊予市の未来につながる学校運営を共に進めていきましょう。



伊予市教育委員会  
教育長 上岡孝